

(様式第9)

国 循 発 550 号  
平成21年10月 5日

厚生労働大臣 長 妻 昭 殿

国立循環器病センター  
院長 友池 仁 殿

国立循環器病センターの業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	100人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	124人	125人	249人	看護業務補助	19人	診療エックス線技師	
歯科医師		2人	0.3人	理学療法士	7人	臨床臨床検査技師	59人
薬剤師	22人	8人	30人	作業療法士	3人	衛生検査技師	
保健師				視能訓練士	1人	検査その他	
助産師	19人		19.0人	義肢装具士		あん摩マッサージ指圧師	
看護師	524人	3人	527人	臨床工学技士	14人	医療社会事業従事者	1人
准看護師				栄養士		その他の技術員	6人
歯科衛生士				歯科技工士		事務職員	55人
管理栄養士	3人		3.0人	診療放射線技師	39人	その他の職員	22人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	517.2人		517.2人
1日当たり平均外来患者数	672.7人	3.3人	676.0人
1日当たり平均調剤数			637.5人 剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	103人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞蹈病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着、瞼球癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、膵動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性なもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時)に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	2人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
ベーチェット病	9人	モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	240人
多発性硬化症	3人	ウェゲナー肉芽腫症	1人
重症筋無力症	4人	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	365人
全身性エリテマトーデス	27人	多系統萎縮症	0人
スモン	1人	表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人
再生不良性貧血	0人	膿疱性乾癬	0人
サルコイドーシス	64人	広範脊柱管狭窄症	1人
筋萎縮性側索硬化症	1人	原発性胆汁性肝硬変	0人
強皮症/皮膚筋炎及び多発性筋炎	10人	重症急性膵炎	0人
特発性血小板減少性紫斑病	9人	特発性大腿骨頭壊死症	0人
結節性動脈周囲炎	1人	混合性結合組織病	12人
潰瘍性大腸炎	8人	原発性免疫不全症候群	0人
大動脈炎症候群	88人	特発性間質性肺炎	1人
ビュルガー病	31人	網膜色素変性症	5人
天疱瘡	0人	プリオン病	0人
脊髄小脳変性症	8人	原発性肺高血圧症	104人
クローン病	0人	神経線維腫症I型/神経線維腫症II型	1人
難治性肝炎のうち劇症肝炎	0人	亜急性硬化性全脳炎	0人
悪性関節リウマチ	1人	バット・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
パーキンソン病関連疾患	23人	特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	96人
アミロイドーシス	4人	ライソゾーム病(ファブリー(Fabry)病)含む	3人
後縦靭帯骨化症	5人	副腎白質ジストロフィー	人
ハンチントン病	0人		

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1週間に 1 回程度 1ヶ月間に 4 回程度	
剖 検 の 状 況	解剖症例数 57例	剖検率 32.0%

## (様式第11)

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
患者に合わせて鍼刺激を自動調節し、ヒト自律神経を確実に治療する、サーボ電気鍼臨床実用装置の開発	神谷 厚範	循環動態機能部	15,080,000	補 委 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
カテーテル式マイクロ能動循環補助デバイスの研究開発	星 英男	人工臓器部	2,600,000	補 委 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
生理活性ペプチドおよびタンパク質の <sup>123</sup> I標識とマイクロイメージングシステムに関する研究	飯田 秀博	放射線医学部	7,384,000	補 委 原子力試験研究費
自己細胞移植再生医学における細胞播種手技の確立とPETによる組織再生過程の追跡	山岡 哲二	生体工学部	6,520,000	補 委 原子力試験研究費
心不全の診療支援のためのSPECT/PETによる新しい心臓機能解析の技術開発と臨床評価	石田 良雄	放射線診療部	4,129,000	補 委 原子力試験研究費
PET胸部検査における体動補正システムの開発と定量的心筋機能評価の迅速・高精度化	渡部 浩司	放射線医学部	3,785,000	補 委 原子力試験研究費
リガンド固定化相と細胞表面で形成されるソフト界面での動的現象の評価と応用	山岡 哲二	生体工学部	7,410,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
G蛋白質シグナルによる物質輸送ダイナミズムのバイオイメージング解析	望月 直樹	循環器形態部	13,600,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
膜プロトンセンサーの細胞内イオンセンサーとの相互作用による活性制御機構の解明	若林 繁夫	循環分子生理部	12,900,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
アンジオポエチン-1/Tie2受容体シグナルの空間的・機能的制御機構の解明	福原 茂朋	循環器形態部	5,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ADAMTS13の基質認識・切断に対する細胞外環境の効果	宮田 敏行	病因部	2,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
小胞体関連分解を担うタンパク質複合体の全容解明とその標的タンパク質の同定	小亀 浩市	脈管生理部	3,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
血管内病態診断のためのマルチモダリティ画像重ね合わせ技術の開発	越野 一博	放射線医学部	780,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
患者個人に適応した慢性心不全に対する安全な運動療法の本格的実用システムの開発	水野 正樹	循環動態機能部	1,560,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
筋強直性ジストロフィ症に関連する選択的スプライシング制御因子の構造生物学的研究	柴田 洋之	心臓生理部	1,820,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
低分子量G蛋白質Rap1による細胞間接着制御機構とその生体内における役割の解析	福原 茂朋	循環器形態部	2,340,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
リボソームサブユニット解離機構	廣川 剛	疫学部	1,950,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
血管内皮細胞作動分子の相互作用による血管機能の病的変化の誘導機構に関する研究	藤田 佳子	脈管生理部	2,080,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金

計 18

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。



(様式第11)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
生理活性ペプチドの特異性を生かした新しい循環器疾患治療法の開発	徳留 健	病因部	1,690,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
新規足細胞保護因子および傷害因子の同定と新たな糸球体再生・修復治療法の開発	澤井 一智	生化学部	1,690,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
メタボリックシンドロームにおける腎障害進展のメカニズムの解明	榎野 久士	外来部	1,690,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
生理活性ペプチドを用いた新規心血管神経脂肪保護再生療法の開発	山原 研一	再生医療部	2,080,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
脱細胞化神経における再生誘導能と表面修飾に関する研究	江橋 具	生体工学部	2,340,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
超分子ナノデバイスによる嚢胞性線維症に対する経肺遺伝子治療法の開発	鈴木 朗	バイオサイエンス部	1,950,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ダール食塩感受性高血圧ラットの候補遺伝子としてのP2rx4の解析	日浦 由美子	疫学部	2,990,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
新規生理活性ペプチドの同定と機能解析による新しい生体調節機構の解明	森 健二	生化学部	2,210,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ADAMTS13変異マウスを用いた血栓性血小板減少性紫斑病発症修飾要因の探索	坂野 史明	病因部	2,210,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
循環器系人工組織のブレインプランテーションによる体内自己組織化	中谷 武嗣	臓器移植部	7,670,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
緊急使用および長期使用が可能な抗凝固療法不要の次世代型PCPS装置の実用化開発	巽 英介	人工臓器部	9,620,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
恒久的使用を目的とした空気圧駆動式ウェアラブル全置換型人工心臓の早期実用化研究	本間 章彦	人工臓器部	21,840,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
統合的人体シミュレーションを目標としたバーチャル心臓の機能モジュール化の研究	中沢 一雄	研究機器管理室	3,250,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ペプチドーム解析に基づく組織特異的なプロセッシング予測法の開発	南野 直人	薬理部	6,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ADAMファミリー関連タンパク質の立体構造と作用機構の解明	武田 壮一	心臓生理部	4,940,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
筋変性疾患におけるトランスポータ・チャネルの病態的意義の解明と治療への応用	若林 繁夫	循環分子生理部	5,720,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
アデノシンによる心不全診断・治療におけるトランスレーショナル研究	北風 政史	臨床研究開発部	7,150,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
MHC確立ミニプタ同種腎移植モデルを用いた慢性移植腎血管病変に対するHGFの効果	佐田 正晴	再生医療部	3,770,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金

計 18

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
適応制御を用いた薬剤投与による心不全血行動態の自動制御システムの開発	杉町 勝	循環動態機能部	8,840,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
細胞外マトリックス模倣型合成スキャホールドを用いた神経組織の再生	山岡 哲二	生体工学部	11,180,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
動脈硬化性疾患の発症に直結する新規バイオマーカーの発見と早期診断・治療法の開発	池田 康行	病因部	8,190,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
体外循環装置における血液損傷低減を目指した血液空気混合の影響に関する研究	築谷 朋典	人工臓器部	2,210,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
血管新生のための血管内皮細胞特異的な乖離・接着調節機構の解明	望月 直樹	循環器形態部	10,920,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
抗血栓性因子の機能低下による血栓症発症の解明とその成果に基づく予防戦略の確立	宮田 敏行	病因部	5,980,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
循環管理を支援する自動治療システムを臨床実用化するための研究	神谷 厚範	循環動態機能部	7,150,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
脳動脈瘤発生増大破裂に関わる炎症の分子カスケードの解明と予防的治療法の開発	橋本 信夫	総長	3,250,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
脳虚血後の環境要因が与える脳機能再生メカニズムの解明：脳血流量と神経再生との関連	横田 千晶	病因部	1,040,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ハイドロキシアパタイト単結晶複合体ナノ界面の細胞機能	古菌 勉	生体工学部	1,430,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
人工心臓装着中の重症心不全患者に対する足熱療法による血管内皮機能・心機能改善効果	駒村 和雄	循環動態機能部	2,210,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
小胞体膜タンパク質によるタンパク質品質管理に関する研究	小亀 浩市	病因部	2,210,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
細胞内Ca <sup>2+</sup> センサータンパク質NCS-1の心臓における生理機能の解明	西谷 友重	循環分子生理部	1,950,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
睡眠時無呼吸症候群と代謝性症候群および循環器疾患との関係に関する研究	小久保 喜弘	予防検診部	1,820,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
心筋梗塞後重症心不全に対する最新薬物治療法の開発	李 梅花	循環動態機能部	1,950,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
内因性心臓保護機構の分子解明—新しい心不全治療法の開発に向けた基盤的研究	岸本 一郎	臨床検査部	2,210,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
若年性大動脈解離性疾患の原因遺伝子の解析と探求	森崎 裕子	バイオサイエンス	2,340,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
生活習慣病に関わる新規生理活性ペプチドの探索と機能解析	宮里 幹也	生化学部	1,950,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金

計 18

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## (様式第11)

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
同位体酸素O-17を使用したMRI脳灌流計測技術開発	佐藤 博司	先進診断機器開発室	1,040,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
虚血に伴う心臓自律神経過剰興奮機序とその心筋傷害に及ぼす影響	秋山 剛	心臓生理部	1,560,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
心筋梗塞急性期における循環動態のコンピュータ制御による、迷走神経刺激治療法の確立	上村 和紀	循環動態機能部	1,430,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
分子機能定量可能な局所拡大撮像SPECTのための画像再構成アルゴリズムの開発	銭谷 勉	放射線医学部	2,860,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
魚類における新規グレリン受容体の同定と作用関連の解明	海谷 啓之	生化学部	1,170,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
構造解析にもとづくADAMTS13の基質認識・切断機構の解明	秋山 正志	病因部	2,600,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
結晶構造に基づいたFERキナーゼの生理作用と制御メカニズムの解明	増田 道隆	循環器形態部	2,860,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
順遺伝学を基盤とした造血・心血管発生の分子メカニズムの解明	川原 敦雄	循環器形態部	1,690,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
日米の血漿ホモシステイン、関連ビタミンB群および潜在性動脈硬化所見の比較研究	岡村 智教	予防検診部	1,950,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
心筋症・心不全発症におけるTRPV2チャネルの病態的役割の解明と治療薬の開発	岩田 裕子	循環分子生理部	1,820,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ストレス応答破綻として捉えた心血管病の分子機構と、新たな治療法開発に関する研究	井上 信孝	脈管生理部	1,690,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
超急性期脳卒中患者における24時間自由行動下血圧測定を用いた血圧動態の評価	豊田 一則	脳血管内科	1,690,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
BMP-3bの新しいアディポサイトカインとしての機能解析	日野 純	生化学部	2,600,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
β3インテグリンの機能調節に関わる分子のクローニングおよびその解析	本田 繁則	病因部	1,391,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
レチノイン酸の母体投与による内臓錯位および大血管転位モデルマウスの遺伝子解析	白石 公	小児循環器診療部	1,553,322	補 委 文部科学省科学研究費補助金
人工心臓に適する機械弁の開発を目的とした流体力学的観点からの基礎研究	妙中 義之	副所長	1,600,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
移植血管組織の石灰化に関する研究	中谷 武嗣	臓器移植部	800,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
特別研究員奨励費	野瀬 和利	病因部	1,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金

計 18

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
特別研究員奨励費	江浦 由佳	病因部	800,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
NCX分子複合体の生体膜マイクロドメイン集積機構の解析	荒井 勇二	バイオサイエンス部	300,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
生命科学・医学の発展に対応した社会規範形成ー生命倫理基本法の構築	森崎 隆幸	バイオサイエンス部	130,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
脱細胞化神経をバイオスキャフォールドとする新しいハイブリッド型人工神経の開発	馬原 淳	生体工学部	520,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
胚性幹細胞および骨髄間質細胞より誘導した神経幹細胞を利用した脳梗塞治療の開発	林 拓也	放射線医学部	390,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
C型ナトリウム利尿ペプチドを用いた難治性心筋炎の診断・治療法の開発	寒川 賢治	所長	130,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
デクスメドミジンの心筋保護効果(心臓マイクロダイアリス法によるアプローチ)	秋山 剛	心臓生理部	130,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
システム生理学的アプローチを用いた生体呼吸調節系の運動トレーニング適応機構の解明	高木 洋	循環動態機能部	130,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
システム生理学的アプローチを用いた生体呼吸調節系の運動トレーニング適応機構の解明	稲垣 正司	循環動態機能部	130,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
次世代型心循環機能シミュレータの開発	李 桓成	人工臓器部	520,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
超高感度画像ガイド下超高分解能核磁気共鳴画像による微小リンパ節転移診断技術の開発	佐藤 博司	(先進診断機器開	130,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
口腔胃相関からみた摂食早期の一酸化窒素介在型グレリン分泌機構	横田 千晶	脳血管内科	200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
口腔胃相関からみた摂食早期の一酸化窒素介在型グレリン分泌機構	寒川 賢治	所長	50,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
長期遠隔成績からみた糖尿病患者に対する至適冠血行再建法に関する研究	小林 順二郎	第二病棟部	22,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
長期遠隔成績からみた糖尿病患者に対する至適冠血行再建法に関する研究	大塚 頼隆	特殊病棟部	2,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
急性心筋梗塞と脳卒中に対する超急性期診療体制の構築に関する研究	野々木 宏	緊急部	35,450,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
急性心筋梗塞と脳卒中に対する超急性期診療体制の構築に関する研究	豊田 一則	リハビリテーション部	500,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
脳卒中地域医療におけるインディケータの選定と監査システム開発に関する研究	峰松 一夫	リハビリテーション部	29,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金

計 18

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## (様式第11)

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
脳卒中地域医療におけるインディケータの選定と監査システム開発に関する研究	長東 一行	特殊病棟部	2,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
致死性遺伝性不整脈疾患の遺伝子診断と臨床応用	清水 渉	臨床検査部	27,786,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
致死性遺伝性不整脈疾患の遺伝子診断と臨床応用	宮本 恵宏	臨床研究開発部	2,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
ナノ分子イメージングを活用した次世代創薬アプローチ	武田 壮一	心臓生理部	7,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
ナノ分子イメージングを活用した次世代創薬アプローチ	望月 直樹	循環器形態部	19,900,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
ナノ分子イメージングを活用した次世代創薬アプローチ	若林 繁夫	循環分子生理部	2,900,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
光受容体メラノプシンを制御する光フィルターを用いた早産児発達障害を予防する次世代人工保育器の開発	池田 智明	周産期治療部	1,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
未受診者対策を含めた健診・保健指導を用いた循環器疾患予防のための地域保健クリティカルパスの開発と	岡村 智教	予防検診部	11,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
脊髄障害防止の観点からみた胸部下行・胸腹部大動脈瘤外科治療ないしはステントグラフト治療体系の確立	荻野 均	外来部	18,400,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
降圧治療および抗凝固療法の個人の特性に応じたテーラーメイド治療確立に関する研究	河野 雄平	第一病棟部	19,500,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
ヒスタミンと心不全の関連についての検討-H2レセプターブロッカーは心不全を改善するか	北風 政史	臨床研究開発部	27,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
虚血性心疾患に対する外来型心臓リハビリテーションの有効性のエビデンスの確立と普及方策の検討に関する研究	後藤 葉一	生理機能検査部	9,800,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
動脈硬化性疾患の発症予知・進展予防に関する研究	沢村 達也	脈管生理部	27,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
わが国における脳卒中再発予防のための急性期内科治療戦略の確立に関する研究	豊田 一則	リハビリテーション部	16,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
動脈硬化性疾患の危険因子の性差と予防に関するコホート研究	内藤 博昭	放射線診療部	21,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
多施設コホートを基盤とした糖尿病・メタボリックシンドロームの発症要因と脳卒中・心筋梗塞の発症に	吉政 康直	外来部	21,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
大規模コホート共同研究による生活習慣病発症予防データベース構築とその高度利用に関する研究	岡村 智教	予防検診部	2,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
保健指導への活用を前提としたメタボリックシンドロームの診断・管理のエビデンス創出のための横断・縦	岡村 智教	予防検診部	2,400,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金

計 18

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
「多目的コホート(JPHCコホート)」における糖尿病・メタボリックシンドロームの発症要因と実態分析に関	小久保 喜弘	予防検診部	700,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
慢性心不全におけるメタボリック症候群の意義に関する研究	友池 仁暢	病院長	1,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
急性心筋梗塞、脳卒中中の急性期医療におけるデータベースを用いた医療提供の在り方に関する研究	峰松 一夫	リハビリテーション部	1,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
高磁場MRIと核医学・分子イメージングに基づく動脈硬化の高感度かつ定量的な診断と新しい予防戦略の構築	飯田 秀博	放射線医学部	62,631,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
難治性循環器疾患を克服する超小型ナノ神経センサー兼刺激治療装置の開発	神谷 厚範	循環動態機能部	46,800,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
分散型ナノ植え込み機器を活用した慢性心不全患者の統合的デバイス治療の開発	杉町 勝	循環動態機能部	37,288,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
循環器病治療機器の医工連携による研究開発・製品化・汎用化を実現するための基盤整備に関する研究	妙中 義之	副所長	66,592,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
皮膚貫通型医療機器およびストーマを有する患者のQOL向上を目的としたスキンボタンシステムの開発・実用	巽 英介	人工臓器部	53,079,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
細胞移植医療における細胞のin vivoイメージングへ向けた新規細胞ラベル化用MRI造影剤の開発	山岡 哲二	生体工学部	59,040,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
慢性心不全の予後を改善するための非侵襲で安全・安心な無痛性ICDの実用化臨床試験	杉町 勝	循環動態機能部	40,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
大規模発現解析より得られた新規酵素心臓特異的ミオシン軽鎖キナーゼ(cardiacMLCK)を利用した心不全治療	北風 政史	臨床研究開発部	55,757,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
機能性siRNA経口投与による家族性高コレステロール血症に対する新しい治療薬の開発	斯波 真理子	バイオサイエンス部	47,173,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
ヒトES細胞由来心筋細胞の表面マーカー探索および大量培養・純化システムの構築	日高 京子	バイオサイエンス部	9,400,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
血管病モデルマウスと血管新生可視化マウスの資源化	望月 直樹	循環器形態部	4,406,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
生物資源研究事業の企画及び生物資源の所在情報等に関するデータベースの構築に関する研究	岡村 智教	予防検診部	300,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
疾患関連創薬バイオマーカー探索研究	寒川 賢治	研究所長	16,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
特発性心筋症に関する調査研究	北風 政史	臨床研究開発部	30,100,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
混合性結合組織病の病態解明と治療法の確立に関する研究	京谷 晋吾	第一病棟部	1,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金

計 18

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## (様式第11)

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
原発性高脂血症に関する調査研究	斯波 真理子	バイオサイエンス部	950,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
呼吸不全に関する調査研究	中西 宣文	生理機能検査部	1,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
血液凝固異常症に関する調査研究	宮田 敏行	病因部	1,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
SPECT検査の精度向上と施設間誤差のない標準的画像診断法の確立	飯田 秀博	放射線医学部	85,162,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
生活習慣病領域における臨床研究のインフラストラクチャー創生とその応用に関する基盤研究	山本 晴子	臨床研究開発部	101,112,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
高齢者医療とQOL改善に対するグレリンの臨床応用とその基盤的研究	寒川 賢治	研究所長	3,540,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
心原性脳塞栓症患者に対する細胞治療の臨床試験とその発展	田口 明彦	循環動態機能部	12,800,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
食生活・栄養素摂取状況が高齢者の健康寿命に与える影響に関する研究：NIPPON DATA 80・90の追跡調査	岡村 智教	予防検診部	300,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
新生児重傷心疾患に対する予後向上のためのリアルタイム心エコー動画による遠隔診断と新生児心疾患救急治療の根拠に基づく鍼治療の開発	越後 茂之	小児科	5,200,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
循環器疾患に対する根拠に基づく鍼治療の開発	川田 徹	循環動態機能部	2,500,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
乳幼児死亡と妊産婦死亡の分析と提言に関する研究	池田 智明	周産期治療部	19,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
細胞組織工学的手法を用いた中枢神経障害に対する根治的治療法の開発	田口 明彦	循環動態機能部	13,400,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
死亡統計データベースの作成とその研究利用のあり方に関する研究	岡村 智教	予防検診部	450,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
大量出血時の止血能の評価と輸血療法に関する研究	宮田 茂樹	臨床検査部	1,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
脱細胞化生体組織による再生医療技術の臨床応用	山岡 哲二	生体工学部	8,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
ウイルス動脈輪閉塞症の診断・治療に関する研究	橋本 信夫	総長	14,900,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
ウイルス動脈輪閉塞症の診断・治療に関する研究	宮本 享	特殊病棟部	1,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
冠・脳血管攣縮の抑制薬としてのS1P3受容体拮抗薬の開発	福原 茂朋	循環器形態部	4,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金

計 18

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。